

1-1 全国のJA初！特殊肥料等入り指定混合肥料 (JA佐久浅間・全農長野・朝日アグリ株式会社)

- JA佐久浅間は、2002年以降、管内乳用牛の排せつ物を堆肥化し販売。2022年4月からは、管内の牛ふん堆肥である「もちづき有機」を30%含むペレット型の指定混合肥料「望ちゃん」、2023年3月からは牛ふん堆肥をペレット化した「もちづき有機ペレット」を販売。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・ JA佐久浅間製堆肥（牛ふん、鶏ふん、植物性残渣、稲わら、モミガラ）
- ・ 米ぬか

- ・ 特殊肥料等入り指定混合肥料「望ちゃん」
- ・ 堆肥「もちづき有機ペレット」

取組の経緯

- ・ 農家の利便性向上のため、2002年から販売していたバラ堆肥のペレット化を朝日アグリに相談し、検討の中で、化成肥料と堆肥を1回で散布可能な指定混合肥料を製造することとし、堆肥30%入りの「望ちゃん」を2022年4月に開発し、JA佐久浅間及び全農長野で販売を開始した。
- ・ 同年に「みどりの食料システム法」の基盤確立事業実施計画の認定を受け、JA佐久浅間と全農長野と佐久市が事業実施主体となり、持続可能な循環型農業を広げる狙いで、地元資源を活用した「もちづき有機ペレット」を2023年3月に製造販売を開始した。

■ 作物 ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

- ・ 野菜
- ・ 水稲
- ・ 果樹
- ・ 花卉

	N	P	K	C/n	水分率
もちづき有機ペレット	2.46	3.59	5.12	17.3	10~20
	N	P	K	Mg	Mn
望ちゃん	12.0	3.4	6.0	1.3	0,4

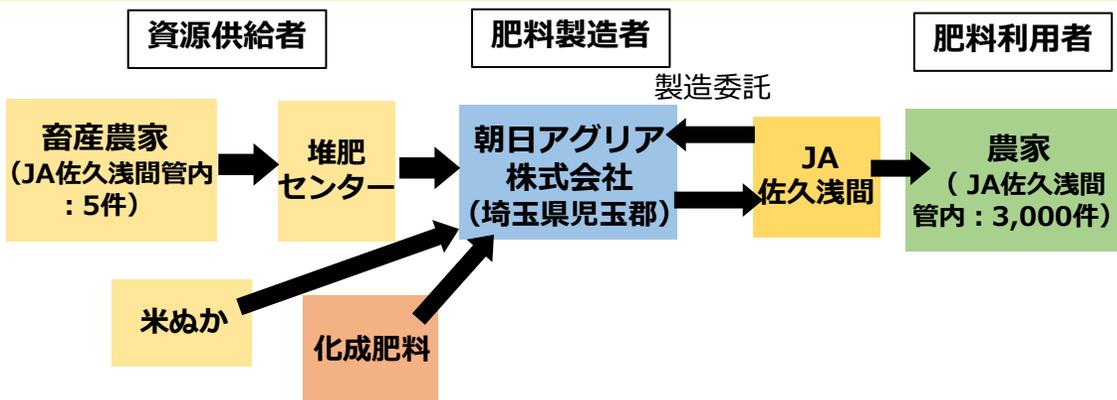
取組の内容

- ・ 2023年春肥用注文書に「望ちゃん」を記載し本格的に販売を開始した。また、ペレットマシンと乾燥機を新たに設置することで堆肥のペレット化を達成。

成果（見込み）

- ・ キャベツを用いた「望ちゃん」の栽培実証時、現行使用している化学肥料（10-13-12）（14-14-14）と比較した結果、成分比で同量の肥料散布で収穫時期や収穫量など遜色なく生育し、施肥コストは10a当り最大で約4,750円削減。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

増産に向けて

- ① 導入・散布面積の増加（専用の散布機を必要とせず施用）。
- ② 低コスト化及び臭気の緩和。
- ③ 適当な乾燥温度の設定。

